

看護しずおか

KANGO SHIZUOKA



- お仕事拝見 -夢をつかむ- P6・7
- 「脳卒中リハビリテーション看護」ご紹介 P4・5
- 先人に聞く 忘れられない看護 P3
走馬灯～今…思い出すままに～



聖隷富士病院から見た初冠雪の富士山



会員数 18,832 名 (平成25年11月11日 現在)

•保健師	516名	•看護師	16,554名
•助産師	724名	•准看護師	1,038名



公益社団法人 静岡県看護協会

静岡県看護協会

検索

【静岡県看護協会】
お気軽にご利用下さい。



平成25年度第3回定時理事会報告

■【開催日時】 平成25年10月15日(火) 14:00～16:30

■【会 場】 静岡県看護協会 第1会議室

出席理事:16名、欠席理事:5名 定款第38条に基づき、定足数10名を満たしていることを確認
出席監事:3名、欠席監事:なし

1. 協議事項(すべての事項について承認される)

- | | |
|-----------------------------|------------------------------|
| (1)公益社団法人静岡県看護協会文書規程(案)について | (3)平成25年度中間事業報告 |
| (2)平成25年度補正予算(案)について | ・会務、庶務報告 ・教育研修部報告 ・事業部報告 |
| | (4)平成25年度中間会計報告 |

2. 報告事項

- | | |
|---------------------------------|------------------------------|
| (1)入会申込者数報告 | (3)平成24年度静岡県看護職員退職者調査結果 |
| (2)平成26年度「看護の日・週間」企画実行委員会委員について | (4)その他 訪問看護ステーション清水の所長変更について |

「故 知花みゑ氏」が知事功労別表彰(保健衛生功労)を受賞

生前永年にわたり、公衆衛生の向上や看護の質の向上に尽力され、保健医療分野の発展に大きく寄与されたことをたたえた表彰状が、10月14日に開催された「故 知花みゑ氏を偲ぶ会」の席上で宮城島健康福祉部長より弟の福松様に手渡されました。「故 知花みゑ氏を偲ぶ会」には、生前親しくされていた方やご指導をいただいた方など52名の方が参加していただき、看護協会名誉会員の知花様の在りし日を偲びました。看護のフロントランナーであった知花様の存在の大きさを改めて感じると共に、知花様の看護の心を引き継いでいく使命の重大さを噛みしめました。



第18回 日本看護サミット 愛知 '13に参加

名古屋国際会議場 10月30・31日

「第18回日本看護サミット愛知'13」が開催され、「看護の新たな価値の創出」をメインテーマに掲げ、看護の深まり、高まり、拡がり、繋がり、の4つの観点から積極的な討議が展開されました。看護サミットは、厚労省の支援を受け「政治、行政、職能、教育」関係のトップリーダーたちが集い、看護の社会的評価を高めることを目的に継続されてきましたが、一定の成果を上げ、役割を果たしたということで、今回が最後のサミットになりました。継続を求める多くの声に応え、今後は日看協が引き継ぎ、平成26年を準備期間に置き、27年から新たな形で再開されることになります。看護の発展、国民の幸せな未来の為に再開される日を心から期待いたします。



鼎談「これからの看護職の未来を語る」

日本看護サミット愛知 宣言

「第18回日本看護サミット愛知'13」では、看護界の現状についてさまざまな看護職者からの意見が発表され、討議が行われ、看護の新たな価値の創出をめざすこととなりました。この宣言は、看護界の現状を踏まえ、看護の新たな価値の創出をめざすこととします。

- 一 看護の新たな価値の創出をめざすこととします。
- 一 看護の新たな価値の創出をめざすこととします。
- 一 看護の新たな価値の創出をめざすこととします。
- 一 看護の新たな価値の創出をめざすこととします。

2013年10月30・31日
第18回日本看護サミット愛知'13





今回は、御自身が84歳の時に綴られた手記をお届けします。明治・大正・昭和・平成の4代を助産婦として、母として…、そして社会活動家として生きてきた女性の一生には感動がいっぱいです。

【プロフィール】 山城せい 明治39年生まれ 106歳 【助産婦】

現在、島田市の最高齢者です。特別養護老人ホーム「かなや」で、穏やかな療養生活を過ごされています。

幼い頃の忘れられない思い出

静岡県志太郡島田町(現在の島田市)にて、父中村友吉(明治7年生まれ)、母さとの次女として明治39年11月13日誕生しました。

幼い頃の家族は、父・母・姉・妹・私・祖母(父の母)・伯母(父の姉)の7人の大家族でした。

祖母と伯母は母の悪口をいつも言うので、私は幼心に母がかわいそうでたまりませんでした。祖母はすきでしたが、そんな時はきらいになりました。今思うと静かでやさしかった母はどんなにつらい悲しい思いを耐えしのんできただろうと思うと涙がでます。母は一度だけ私に言いました。私が生まれたばかりの時にタライで沐浴をしていた時、そばで見ていた伯母はきたないと言って沐浴しているタライの中に唾を吐いたそうです。母はとてもつらかったと話していました。

5～6歳頃は、母の実家に長く泊まっていた。そこでは山に行ったり川に入って沢ガニを捕まえたり川魚を捕ったりして毎日近所の子供たちと楽しく遊んでいました。山から川へと流れ出ている冷たい清水に砂糖を入れて飲んだり、沢ガニを串にさして焼いてもらって食べたり、木の実を取って食べたり、その頃が今でも忘れられない思い出です。

私の小さい時、町に初めて電燈がつきました。毎日ランプを掃除したり油を入れたりしていたのが、日暮れになるとひとりでにパッと電燈がつくようになりました。初めは5燭の電燈だったのに、とても明るいと思いました。毎晩その下で父は縄をなったり草鞋(わらじ)を作り、母は縫い物をしていました。

楽しいこと、面白いこといっぱいの小学時代

大正2年4月島田女子尋常高等小学校に入学しました。今まで何も読み書きしたことのない私は、初めてハタ・タコ・コマ・マメと読んだり書いたりできるようになりました。もううれしくてたまりません。障子の1ます1ますに筆で黒々と書いて喜びました。たぶん「やたて」の筆を出して書いたのでしょう。「やたて」とは携帯用の墨つぼと筆筒です。父が商いに出る時、いつも腰にさしてでかけていたものです。

父はよく幼い私を膝の上にだいて、花咲かじいさん、かちかち山、桃太郎など色々なおとぎ話をしてくれました。姉やその友達と、れんげ、たんぼぼ、すみれなどよく取りに行きました。あの時代が懐かしいです。

夏の夜は、母・姉・妹また近所の人たちと夜空に光るほたるを籠を持ってとりにいきました。祖母や姉、友だちと川にしじみを拾いに行った時も楽しかったです。

私が小学校2・3年頃、地元で大正座という芝居小屋ができました。私の家でも株主になったので、株券に2銭つけてやれば、どんな

お芝居でも見れたのです。毎晩お芝居を見に行きました。タダ見もよくしました。学校から帰ると子供たちは、芝居のまねをしてよく遊んだものでした。

私たちの子供の頃は、楽しい遊びや色々面白い事がまだまだたくさんありました。今の子供たちは勉強、勉強で遊ぶこともできないし、遊ぶ所もないので、テレビを見るくらいでかいそうです。

小学5・6年生にもなると子守奉公に出る子もあるし、自分の弟妹をお守しながら学校にくる生徒もありました。



●小学校時代

17歳、自活できる仕事をしたいと東京へ!

大正10年3月女子尋常小学校高等科2年を卒業しました。この頃の娘たちは行儀作法見習いに東京に行く人もありました。花嫁修業のためにお裁縫・お花・茶の湯を習う娘さんも大勢ありました。私は裁縫を近くの家に習いに行きました。学校とは違って自由です。お話したり歌ったりお祭りを見に行ったり、楽しみもありましたが、また一人ひとり悩みも持っている娘時代でした。

私は、自分で何か自活できる仕事を習いたいと新聞を見ていました。東京至誠病院で看護婦を募集しているのを見ていたのでそこに行こうと急に思い立ち、何も知らない東京に1人夜行の汽車に乗って旅

立ちました。東京大震災の翌年の4月、17歳4か月位の頃でした。



●看護婦を目指した若かりころ

「脳卒中リハビリテーション看護」ご紹介

開講式



さあ6か月間が
はじまります。
期待と不安が
いっぱいです。

先輩講師(I期生)の授業です。



実際的でわかり
やすいですね。

みんな輪になって肺音を聴取しています。



S2は大丈夫？
S6は大丈夫？

側臥位での呼吸介助をしています。



呼気時に下部
胸郭を押し上げる
ように圧迫するって
力の強さ加減が
むずかしいです。

右片麻痺患者の食事動作を体験中です。



左手で食べるって
難しいです。

自立支援グループ発表をしました。



FIMの評価を
もとに患者さんの生活
を再現してみました。
細かな動きの
観察が大切だと思
いました。

いつも図書室で文献を調べています。



課題が
いっぱい…。

図書室で実習記録をまとめています。



また患者さんに
あいたいなあ。
うまく食事が
できて
いるかなあ。

6月10日に開講した「脳卒中リハビリテーション看護」認定看護師教育課程も、早くも5か月を経過し、現在は県内6か所の急性期・回復期病棟および4か所の訪問看護ステーションで実習をしているところです。スケジュールに沿ってご案内します。

スケジュール

- 開講式(6/10)
- オリエンテーション
宿泊研修
(6/20～21)

- 講義
共通科目(6/11～7月)
専門基礎科目(6/13～8月初)
専門科目(8/6～9月)
- 科目修了試験

夏休み
(8/12～16)

- 演習(6月～12月)
看護過程
文献検討
ケーススタディ
事例検討

- 実習(10/1～11/15)
急性期病棟
回復期病棟
訪問看護ステーション

- 課程修了試験
- 事例発表会
(12/5)
- 修了式
(12/10)

脳の血管を針金で作成しました。

作るのは大変
だったけれど楽し
かった。できれば、
ごらんの通り
個性豊かです。



グループで看護過程を展開しています。

NANDAって
なんだ？
言葉に慣れて
つかえるよう
になってきました。



緊張しました。
うまく伝え
られたかな。



実習病院で、病棟の
看護師さんたちに集まっていただき
カンファレンスを開催しました。



あともう一息です。
がんばりま～す。

読者の広場



大石さき様の記事に感銘を受け
ました。もう少し仕事頑張ってみ
ようと思います。

今回は、メンタルについてと離職につい
て考えさせられました。どんな人でもス
トレスを抱えているし、少しのきっかけ
で誰でもメンタル疾患になってしまうの
かと分かりました。

募 集 し ま す

募集1 「看護しずおか」表紙

看護しずおかの表紙を飾る写真を募集します。
テーマ：看護のある風景
(家族など看護職でなくても結構です)

募集2 読者の広場

皆さんに知らせたい、知ってもらいたい「活動」や「意見」
などなんでも結構です。写真などもご自由に投稿してく
ださい。

募集3 クイズ さて、わかるかな？

クイズの問題を募集します。
どんな内容でも結構です。



皆さん、どしどしご応募下さい。お待ちしております！
詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.shizuoka-na.jp/>

お仕事拝見

第1回

看護の知識や資格をいろいろな分野で生かしながら、第一線で活躍している方々のお仕事を、ちょっと拝見してみます。

夢をつかむ

～手と目と仏様のような心で護る(看護)～



福與富美子さん(79歳)

第1回は静岡県の看護師起業家の先駆者であり、平成4年に静岡県初の「ナースィングホームあしたば」(介護付有料老人ホーム)を創設した福與富美子さん取材しました。起業したきっかけ、これまでの経過や苦労話、後輩に向けてのメッセージなどを「ナースィングホームあしたば2号館」でお聞きました。

看護を大切にしたいケアをしたい

福與さんは、静岡県赤十字病院で37年間勤務され、57歳で退職し、57歳の平成3年12月に会社を設立し、平成4年8月に「ナースィングホームあしたば」を開設しました。長い病院勤務の中、急性期から慢性期を経て看取りの看護までを経験し、慢性期よりも急性期の看護が優先され、不本意のまま看送らざるを得ないことを臨床現場で感じていました。42歳頃から臨床では本来の看護が十分にできないと感じ、

慢性期には医療を必要最小限にとどめ、看護の原点を大切にしたい看護を一人でも二人でもできればいいという熱い思いが起業の発端となりました。



▲ナースィングホームあしたば2号館

起業は、楽じゃない

「起業するということは、看護の仕事以外のことが多く、利害関係が伴う仕事をするので大変だった」「生みの苦しみだった、苦労の連続だった」と創設当時を思い返しながら語って下さいました。ご主人からは「行政がやるようなことをなぜやるのか」と言われ、説得に3年かかりました。自身が目指す24時間の看護を提供していくために、あえて株式会社にしたものの「看護で金儲けするとはどういうことか」と営利主義に受け取られたり、行政官からは「看護師一人では何ができるのか、医者がいなくて何もできないじゃないか」と冷たく言われ、協力者より批判する人の方が多かったそうです。一番協力してくれたのは当時の静岡県看護協会の故知花会長で、会社設立の際の理事を快諾してくれたことを懐かしく語ってくれました。当時はバブル期でもあり土地やお金の工面も大変で、人手不足のため自身も夜勤をやっては昼間営業に歩き、3年位は昼夜問わずに働いてきました。開設から4年後には、夫が脳出血で倒れ、介護と90歳の母親の世話をしながら、毎日自転車でするナースィングホームの食材の買い出しをするなど「やるしかない!」という思いで突き進んできました。周囲からは「大変なのに、よくニコニコしてられるね」と言われるほど、公私共に大変な状況でありながらそれを周囲に感じさせない意志の強さと優しさを貫き通されていました。「今年で21年が経ちます。起業すると簡単に言うけど、大変ですよ。株式会社なので

助成金や優遇措置など何もありません。お客様から頂いたお金だけで全部をやりくりするのは大変ですよ」といいながらも、看護師が24時間常駐し、基本的な看護理念を大事にし、医療処置が必要な方にも対応しています。また、入居者1.5人に対して、看護・介護職員を1人配置していることや、食事もお米は契約農家から仕入れたり、冷凍食品は一切使用せず新鮮な食材を館内で調理して提供するなど入居者が安心して生活できるようにとのこだわりも持ち、手を抜かない看護と介護がそこにはありました。今は、家族が人づてに、「あしたばに行くと食べられなかった人が食べられるようになる」「病院でできた褥瘡も治った」など、口コミで「あしたば」の存在価値を認めてくれています。



▲エントランスホールでの取材



▲彫刻家 前島秀章氏の作品に囲まれています

少しだけ

ナーシングホームあしたば2号館の紹介

施設入口を入ると正面の壁には樟に前島秀章氏が彫刻をほどこした巨大な壁面レリーフ。その右奥には、樟の大きなテーブル、テーブルの中心には手と手が合わさっている彫刻がほどこされ、壁や柱、中庭にも前島氏の作品がいっぱいあります。広々とした空間の中にゆったりと穏やかな気持ちにさせてくれるエントランスホールです。

～手と目と仏様のような心で護る～
という福與さんの看護への熱い思いが溢れています。



▲入口正面の壁面レリーフ



▲エントランスホール



▲ヒノキのお風呂



▲ナースステーション

2階3階は、全室介護専用の広々とした個室です。24時間対応ナースコールが完備されています。一般浴室は、ヒノキのお風呂で、お湯は一人ひとり交換します。4階に晴れた日には富士山と太平洋が一望できる展望フロアがあります。ナースステーションと隣には集中看護室があり、24時間看護師が常駐しています。

※ナーシングホームあしたばは、老人ホームの経営の他介護保険法による事業や介護予防事業も合わせて行っています。詳しくはホームページをご覧ください。

「福祉の現場でも看護そのものを理解し、入居者一人一人を大事にし、人間性を尊重する中で看護の原点を追求できます。自分の生活も大事にしながら働ける職場で看護力を活かしてみませんか？」

こんなことを思って仕事をしています

“看護の基本をおろそかにしてはいけない!”

「褥瘡ができるのは、手をかけないからです」とはっきり言い切ります。栄養のある食事と、1日9回のおむつ交換と体位変換。体圧分散するポジショニング、清潔の保持などの手をかける看護をすれば褥瘡ができることはない。いかに手をかけるかです。病院を退院する時、褥瘡のあった方がナーシングホームに入居して褥瘡が改善したり、病院入院中は口から食事ができなかった方ができるようになったりしています。



“看護師免許に匹敵する仕事を!プロ意識をもって!”

急性期の患者を医師と一緒に一生懸命やる看護師だけがエリートではないのです。ナチンゲールの『看護覚え書』で学んだ看護の本質を理解し、科学的根拠をもって“看護実践”をしていく看護師こそがエリートではないでしょうか。

“人間性を高め、一生勉強です!”

慢性期の看護は、特に人間性を問われることが多いです。免許があるからといって自分の能力を過信せず、人間性を高め、看護のプロとして一生勉強し続けていくことが必要です。

取材を通して



「起業することは、簡単なことではないです。生き地獄を体験しました。」21年の年月を経て、静岡県の看護師起業家の先駆者の福與さんからは、決して妥協しない看護理念と看護師としての企業家のポリシーを感じました。また、「ここには、看護の専門性と独自性がある。こんな上司がいるところで、看護実践をしてみたい!」と感じました。改めて、ナチンゲールの『看護覚え書』を読み返したいと思いました。

◀施設入口のあしたば

私の好きな“ことば”

【第2回】

自らを励まし戒める人生の師“座右の銘”
様々な職場で働く看護職の皆様にお聞きしてみました。



医療法人 緑生会
天王病院

袴田 高子

現状維持ではなく、更なる改善を
めざしステップアップを…

与えられた仕事を漫然とこなすだけでは、組織も個人も
進歩しません。日常業務のなかで現状を少しでも改善す
るにはどうしたらよいか、を常に考えながら行動すれば、
よりよい看護、働きやすい環境を実現できると考えます。



独立行政法人国立病院機構
静岡富士病院

安田 忍

患者の願いや思いを受けとめる

看護師として5年経った頃、ガン末期の患者さんが病室
を訪れる度に「たすけて安田さん。たすけて…」弱々し
い声でした。戸惑いと恐怖で逃げた私。でも、その声が私
を本気で看護師になろうと思わせた言葉でした。



訪問看護ステーション天竜

渡邊 禎子

幸福だから笑うのではない、
笑うから幸福なのだ

楽しいと感じられる、笑う事ができる自分でありたいと
思う。依存的な性格の私がこの言葉を繰り返し、自ら責
任を負える生き方ができるようになってきたと思える。
そして周囲への感謝を笑顔で表したいと思う。



医療法人社団 主友会
浜松オンコロジーセンター 看護部

角谷 京子

誠実に最善を尽くす

がん看護に携わり、多くの患者の生き方に触れて、その
時々、誠実に最善策を共に考えて乗り越えてきた。それ
は、私には仕事、家庭、育児などにおいても同じであり、
常に誠実に最善を尽くす事が大切だと思っています。



医療法人社団種光会
朝山病院

竹田 道子

信 頼

衛生看護科時代、担任から生きていくうえで人との信
頼関係の大切さを話されていたことを思い出します。あ
れから35年、人間関係を構築する時、信頼を積み重ねな
がらこの言葉を大切にしてきたように思います。



静岡レディースクリニック

中村 牧子

1 地味にコツコツと積み上げる
2 自分を生かす、隣人を生かす
3 チーム丸となりアグレッシブに目標を達成！

武者小路実篤氏は、人生論「自分を生かす」で「人間は
何かに生まれたものだ。何もしないために生まれたの
ではない」と述べている。不妊患者さんの願いや心を救う
歌を歌う為に、私はこの座右の銘で成長していきたい。



静岡県農業団体健康保険組合
保健事業部

墨岡 ゆり

一期一会

日々、様々な人に会い関わっています。同じ人に幾度と会
うこともありますが、その時間は一度きりです。相手の言
葉や想い、その瞬間を大切にすること、また出会いの中
から多くを学び成長していきたいと思っています。



清水スポーツ整形外科

鈴木 文子

後悔しない！

今まで「失敗したなあ」と思う事は多々あります。でもそ
れは自分が決断し、行動したことの結果です。失敗して
も「自分にとって何か意味があるのだから」と考えるよ
うにしています。後悔したら、人生悲しすぎます。

地区支部事務所を活かして、「まちの保健室」の定着を!

in 志太榛原地区



この4月、静岡県看護協会が公益社団法人としてスタートしました。地域住民に最も近い存在として、地区支部が担う役割はますます大きくなってきました。今回は、志太榛原地区支部の斎藤博子支部長さんに支部活動について伺いました(9月3日)。



地区支部事務所を開設して

志太榛原地区には県下3番目の地区支部事務所があります。事務所は十分な広さと、立地条件に恵まれた藤枝の駅前に位置しています。また、事務所開設と共に配置していただいた事務職員の存在が一番のメリットです。事務職員がいることで、役員への負担も随分軽減されました。今後は近隣地域との連携を密にし、幅広い地区支部活動を心掛けていきます。また、事務所の活用法についても検討を考えています。

支部長が協会の理事になったことで

協会の動きもわかりますし、他の地区支部の活動状況も解り、情報交換・共有の場としてもよかったと思います。平成25年4月1日から公益社団法人静岡県看護協会として新たなあゆみを始め、協会活動は地区支部が中心となって進めていかなければならないということを強く感じています。

地区支部の活動



▲地区支部研修会

早いもので、地区支部の活動も半分を過ぎようとしています。地域に密着した内容としては「地域のまつり」「花火大会」の救護をはじめ「まちの保健室」において健康チェックや健康相談などを実施し、地域住民の皆様の健康サポートをしています。その中で、温泉施設、介護施設などでのお年寄りの方々のお話を拝聴させていただくなど、多数の市民の皆様方との交流

の場となっています。会員・一般の方を対象に研究会を開催しました。災害支援ナースの育成研修にも力を入れ、地域住民の皆様と共に防災訓練も取り組んでいます。また、小・中・高校生の皆様への「心肺蘇生AEDの実技指導」「生き方教室」「性教育講座」の出前授業や市民参加のイベントである「福祉祭り」への参加活動等を予定しています。

I型「まちの保健室」の開設に向けて

現在、まちの保健室は温泉施設、介護施設などでII型を行っています。10月に行われる「福祉まつり」



▲まちの保健室

等で「まちの保健室」I型をアピールしたいと思います。また、市や自治会とも連携し、「まちの保健室」I型を定着していけるよう取り組んでいきたいと思っています。

地区支部活動をより多くの人に知ってもらうために…

まずは会員一人一人に活動内容を知ってもらうこと。そして会員の資質の向上とともに、地域の人達にどう貢献していくか?もっと身近に感じてもらうためには?会員・地域の方々の声を、一人でも多くの方とふれあい、支部の活動を伝えていきたいと思っています。

地域に定着する看護活動の発展…。
会員の皆さん、会員の皆さんよろしくお願いします。

今回は、中東遠支部・静岡支部です。

1 介護保険施設等における看護リーダー研修

介護職やケースワーカーなど、他職種と協働し、リーダーシップを発揮できる看護職を養成することが、この研修のねらいです。平成22年度から今年度までに主任・副主任・看護リーダーなど277名が受講し、フォローアップ（公開講座）には35名の方が参加しました。リーダーシップを発揮する大前提として、施設が看護職に期待していることを常に意識することが重要です。研修では、「役割の再確認」を踏まえ「高齢者の権利擁護・摂食嚥下のケア・感染管理の実践・看取りのケア」についても学びました。施設の利用者様や御家族が望まれるようなケアを提供するためには、職種を越えて『同じ目標』に向かう必要があります。研修では職員と共有できるよう、より実践的で根拠を示すように工夫をしました。また、介護士やケースワーカーだけでなく、同じ看護職同士でも基礎教育や経験の差によって、コミュニケーションに苦勞するケースが少なくありません。“ポジションチェンジ”で相手の立場や役割を考慮したコミュニケーションは効果的だったようです。2012年5月「介護施設における看護職のための“系統的な研修プログラム（実務者向け）のご提案”」が日本看護協会から発行されました。各施設で研修を企画する機会に是非ご活用ください。来年度は施設における看護管理の講義も検討しています。研修への参加は、単に知識の伝達だけではなく、新しい情報をキャッチするきっかけになります。また、似た課題を抱えている看護職同士、グループワークで日頃の業務を振り返り、自分の職場の魅力を再発見したり、改善したい課題がはっきりしたりするなどプラス効果が何倍もあります。施設在宅で働く看護職の皆様の多数の御参加をお待ちしております。

教育研修部 佐藤



2 「認知症患者の看護」 ― 知っておきたい知識 ―

1年ぶりに、老年看護分野の教育研修が再開されました。今年度は、皆様の要望と研修評価から、「認知症患者の看護」に焦点を絞り、静岡赤十字病院の「認知症看護 認定看護師」森藤あゆみさんを講師に迎えました。研修応募数は、156名であり、定員の100名を大幅に超えました。最終的には、135名の受講者が、9月19日の研修に参加されました。講義内容は、認知症の基盤となる考え方、認知症の基礎知識、認知症のある人とのコミュニケーション、アセスメントと環境づくり、認知症看護：実践編でした。1日研修ではありましたが、臨床で活躍されている認定看護師による体験談に、研修生が引き付けられ、積極的な姿勢で研修を受けることに繋がっていきましました。認知症看護について、新しい知識を学び、研修生自身が認知症看護について振り返る機会になり、高評価でした。高齢者の持つ健康問題の中で、認知症は増加し続けています。看護の対象としても、認知症患者が大きな割合を占めており、認知症患者を理解した看護ケアが求められています。次年度は、認知症の基礎知識と問題解決プロセスの学びに、院内外・他職種の連携についての講義を加え、オレンジプランを念頭に入れた研修を企画予定です。

教育委員会 松井順子

3 リーダーナース研修 ― 問題解決技法―

看護協会が企画する中間管理者を対象にした研修は少なく参加者も限られており、問題解決を役割として求められていても具体的な方法を学ぶ機会が不足していました。そこで、課題と解決策を導き出すプロセスのひとつとしてKJ法を学ぶ本研修を企画しました。KJ法は、文化人類学者である川喜田二郎氏が考案した、データや情報をまとめて問題の解決などを探っていくプロセスであり、名前の由来は考案者のイニシャルにちなんでいます。2013年10月17、18日に情報工房代表・千葉大学大学院看護学研究科特命教授である山浦



晴男先生から問題意識や解決アイデアについてグループで討論する方法やKJ法の具体的な手順を学びました。研修生は67名でグループワークが中心でした。秋風が吹き始め気温も下がりがつつある中、活発な意見交換や質疑応答がおこなわれ、部屋は熱気に包まれました。短い時間でしたが、それぞれの悩みを共有し、また丁寧に課題を導き解決策を検討することにより、今後の看護実践の示唆を得る研修になりました。

教育委員会 三浦智美

お知らせ

1 長期研修計画

()は見込み

研修名	H25	H26	H27	H28	H29
認定看護師教育 看護	●	●	H26受講者状況により 開講を決める(H26当初)		
認定看護 管理者教育					
ファーストレベル	●	●●	●●	●●	●●
セカンドレベル	×	●	●	●	●
サードレベル	●	×	×	●	×
静岡県受託 研修					
実習指導者等講習会	●	(×)	(○)	(○)	(×)
専任看護教員講習会	×	(○)	(×)	(×)	(○)

2 H26ファーストレベルの応募時期は前期・後期まとめて2月を予定しています。開催要項は1月中にお知らせします。

3 “認定看護師への挑戦”

脳卒中リハビリテーション看護教育課程願書受付中
12月20日(金)迄 募集案内はホームページをご覧ください。

4 看護の魅力を再発見!! 平成26年2月15日(土)10:00~あざれあ
第2回看護学会“看護って?—今こそ看護の本質を見つめよう—”皆様の参加をお待ちしています。参加申し込みはホームページからお願いします。

ナースセンターだより

【本年も再就業準備講習会が10回予定のうち8回が終了しました】



平成24年度は112人が参加し
25年3月末時点では50人、1年半
経過後、25年10月現在で83人
(74%)の方が再就業しました。就業
に至るまでしっかりサポート!!本年も
10月現在43%の人が皆様の仲間
入りし、8人の方が次のステップの研
修を受講しています。12月に沼津市

立病院、26年2月に静岡県看護協会で研修を予定しています。再就業
どうしようかなと足踏みをしていいらっしゃる方、どうぞ参加してください。
あるいは皆様の周りに未就業の方がいらしたら声をかけてください。

おお!血管の感触がよみがえってくるわ!!



【ナースセンターの就業相談員が、あなたの身近な浜松と沼津のハローワークにも行きますよ!】

ナースセンターが持つ看護職によるきめ細かで専門的な就業支援力、研修・最新の看護情報量とハローワークが持つ認知
度と全国ネットが連携してあなたの再就業を応援します。



ハローワーク沼津の相談室

働きたいけど、長い時間は…、
技術が追いつかないかも…など
なんでも相談に応じます!

ハローワーク沼津 毎月第5金曜日
ハローワーク静岡 毎月第2水曜日 9時～12時
ハローワーク浜松 毎月第2水曜日

看護職専門のナースセンター相談員がお待ちしております。
個人情報情報は厳守します。



家の近くで、子育てしながら働けるところは?
技術や新しいシステムが不安でなかなか1歩が踏み出せない!

派遣型研修をご存知ですか。身近な病院・訪問看護ステーションで5日間
の実体験を含めたあなただけのプログラムで研修を受けてみませんか?

相談はお近くのナースセンターへ

本 所	TEL 054-202-1761 FAX 054-202-1762
東 部 支 所	TEL/FAX 055-920-2088
西 部 支 所	TEL/FAX 053-454-4335

【臨床心理士・産業相談員 西尾明先生を 講師として中間管理者セミナーを開催】

60人が参加しました。管理者として、指導する姿勢
もストレスになると教えていただき、対人援助者として
傾聴(気持ちを聞く)を大切に關わっていく事を学びま
した。参加者からは、「自分の内面と向き合う機会に
なった」「また是非やってほしい」という感想もいただき
ました。エゴグラムの結果が、お土産です!



悩みは誰かに話しましょう

話した内容が他の人や職場に伝わることはありません。
お気軽にご利用ください。

【専用ダイヤル】 **054-202-1780**

日 時	平日 9時～16時	TEL 054-202-1761 FAX 054-202-1762
場 所	静岡県看護協会 会館	
日 時	毎月第1金曜日 10時～15時	TEL/FAX 053-454-4335
場 所	看護協会西部地区支部事務所	
日 時	毎月第3金曜日 10時～15時	TEL/FAX 055-920-2088
場 所	看護協会東部地区支部事務所	

看護協会
総務部

静岡県看護協会 継続・入会手続きについて

■平成25年度継続・入会手続き締め切り迫る

受付は、**平成25年11月29日(金)必着**です。
看護職賠償責任保険制度(平成25年11月1日～平成26年11月1日)は、平成25年度会員資格がないと加入できません。
ご注意ください。

■平成26年度継続・入会手続きが間もなく始まります

11月中旬に、平成26年度継続申請書類等を発送します。
受付期間:平成25年12月2日～平成26年11月28日
会員資格:平成26年 4月1日～平成27年 3月31日
※平成26年4月1日から会員サービスを受けることができるよう平成26年3月末日
までにお手続きをお願いします。
(注意)平成25年度同様、会費の納入は、振込みのみです。現金での受付はできません。

■問合せ先・資料請求 総務部 054-202-1750

看護協会
事業部

聴講生募集 平成25年度『看護職のW・L・B推進 フォローアップワークショップ』公開

- 日 時 平成26年1月17日(金)9:30～16:15(受付9時から)
- 場 所 静岡県看護協会第一研修室
- 内 容 1年目、2年目参加施設からの報告、全体討議
- 定 員 20名 ■受講料 無 料
- 申込期限 平成25年12月10日(火)
- 申込方法 同封「参加申込書」により、FAXで申込み
- 問合せ先 事業部 054-202-1770

災害看護対策
委員会

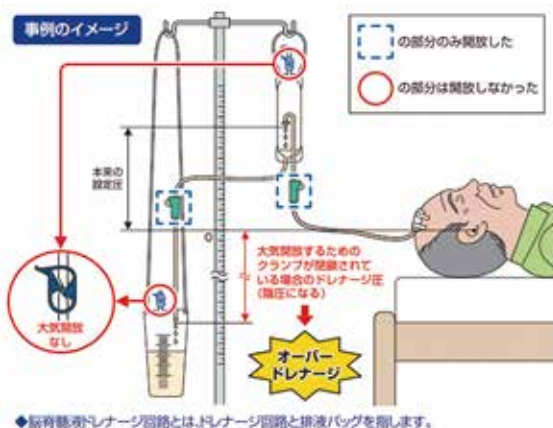
災害看護研修

- 日 時 平成26年3月11日(火)13:30～16:30
- 場 所 静岡県看護協会第一研修室
- 内 容 クロスロード・机上シュミレーション
- 問合せ先 総務部 054-202-1750

医療安全情報 平成25年度 第4弾

最新の医療安全ニュースで、脳脊髄液ドレナージ回路の誤った開放によって 重大な事故につながるということが発信されました

社会経済福祉委員会



脳脊髄液ドレナージ回路の**クランプを開放した際、大気開放されなかった**ことにより陰圧となり、**オーバードレナージとなった事例**が報告されています。また、オーバードレナージによって陰圧になった**脳内に空気が逆流**してしまったという事例もありました。

脳脊髄液ドレナージ回路の原理や管理方法の教育、脳脊髄液ドレナージ回路のクランプの閉鎖時や開放時はチェックリスト等を用いて確認するなど、自施設、自部署で対策を考えてみましょう!!



公益財団法人 日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部 http://www.med-safe.jp/pdf/med-safe_83.pdf より掲載



さて、わかるかな?

次の4文字熟語の□に入る語を
並び替えてひとつの熟語を作ってください。

穀 豊

書 味

転 起

答え.

応募方法

葉書に答えをお書きのうえ、下記にお送り下さい。正解者の中から、抽選で5名の方にクオカード(1,000円分)を差し上げます。
当選者はVol.5に掲載致します。(ペンネーム可)

●葉書に下記を記入の上応募してください

◆答え ◆氏名 ◆所属 ◆電話番号 ◆〒 ◆住所
◆看護しすおかの感想 ◆看護協会への御意見

お寄せいただいた御意見・御感想は、看護しすおかに掲載させていただくことがあります。

●締め切り: 12月20日(金)消印有効

●宛 先: 〒422-8067 静岡市駿河区南町14-25
静岡県看護協会 総務部 看護しすおかクイズ 係

当選者

●クイズ(vol.3)答え: 1.真 2.目

●当選者: 石井和世様 ・ 小澤敦子様 ・ 岩田千恵子様
ペンネームいきものがかり様 ・ 倉島志保様